

概要版

第2期大田市スポーツ推進計画（R4～R8年度）について

●計画策定の趣旨

国において平成23年に「スポーツ基本法」が施行され、平成24年には「スポーツ基本計画」が策定されました。これらの中では、現代社会の中でスポーツが、青少年の健全育成や、地域スポーツの新たな役割として地域間交流の促進による「地域再生」、心身の健康づくりを通じた「長寿社会の実現」に貢献すること等、多面にわたる役割を担うことが示されました。

本市においては、平成23年度に「生涯にわたるスポーツライフの実現」に向けて「大田市スポーツ推進計画」を策定し、様々な施策を展開してきました。その計画を引き継ぎ策定した「第2期大田市スポーツ推進計画（前期計画）平成29年度～令和3年度」が最終年度を迎えることから、これまでのスポーツ推進施策を検証するとともに「スポーツ基本法」の理念を踏まえ、「第2期大田市スポーツ推進計画（後期計画）令和4年度～令和8年度」を策定するものです。

●課題に対する今後の方針

課題① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進が必要

方針	今ある資源を最大限に活用し、誰もが気軽にスポーツ活動に参加できるように、市として情報提供に努めます。健康増進・介護予防、生きがいつくりの視点からも、健康寿命の延伸を図る体制づくりを継続して進めていきます。
----	--

課題② 少子高齢化・人口減少を考慮した対策が必要

方針	遠くへ移動をせずとも、それぞれのお住まいの地域で、気心の知れた仲間と一緒に軽い運動を行うことができるように運動への啓発を行っていきます。
----	--

課題③ 子どもの体力向上対策が必要

方針	今後も、小中学校新体力テストの一括実施を行います。また、小中学生のスポーツ団体の活動状況の把握に努め、長期間にわたるスポーツライフ継続のためのスポーツ障がい予防の研修会等を行っていきます。
----	--

課題④ スポーツ指導者の確保・育成が必要

方針	スキルアップや人材確保のため、「スポーツ指導者育成講座」や「スポーツリーダー講習会」等、希望する人に基礎知識等を学ぶ機会を提供していきます。
----	--

課題⑤ 資金の確保が必要

方針	スポーツ振興のための島根県からの助成金、スポーツ振興くじ助成事業の活用やクラウドファンディング等の活用や、 <u>2030年に島根県で開催される国民スポーツ大会に向けて基金の設立を検討します。</u>
----	--

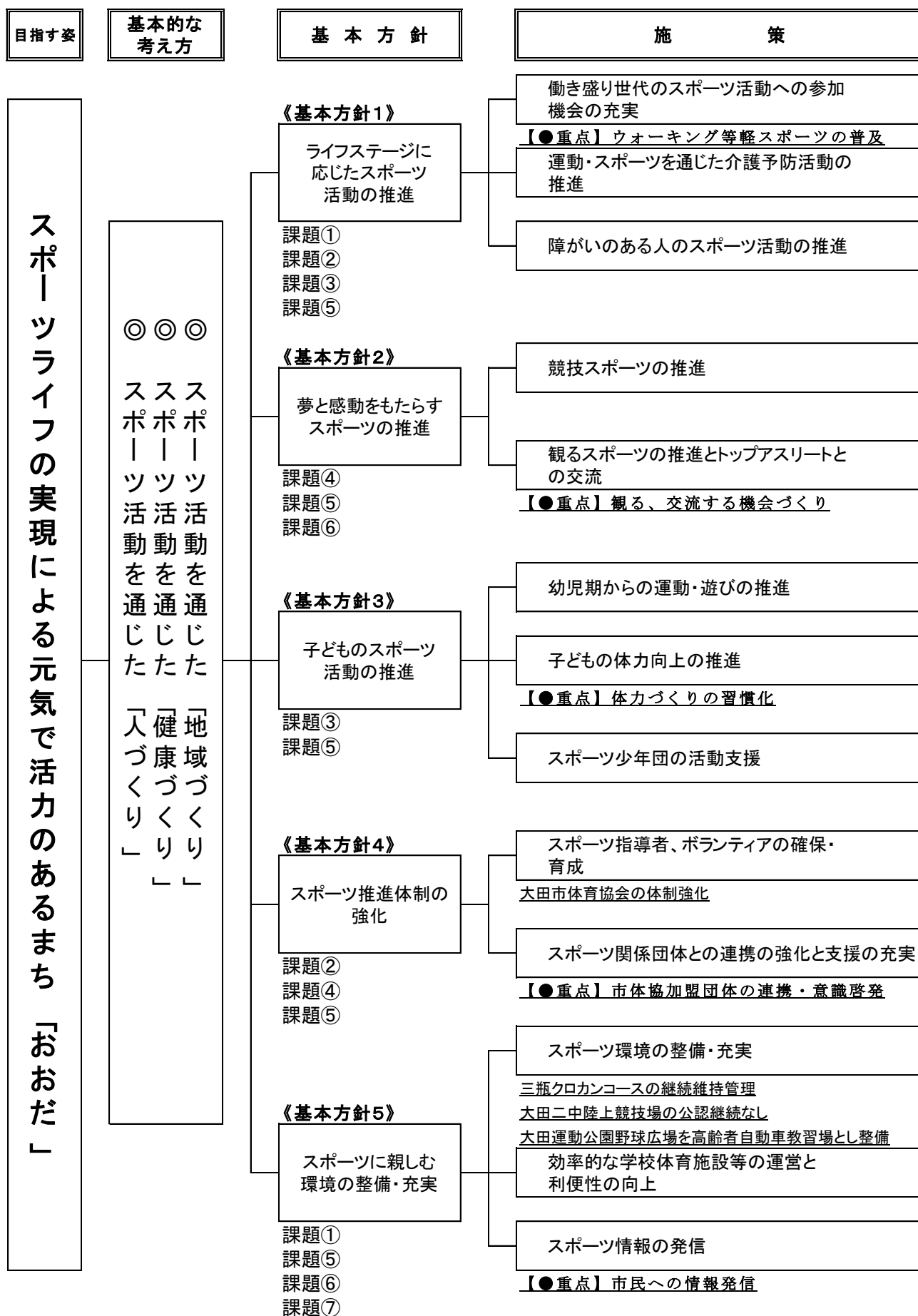
課題⑥ 情報収集・発信の体制構築が必要

方針	大田総合体育館や大田市体育協会と連携して情報を収集・集約し、SNS、インターネット、マスメディア、広報誌やホームページ等を通じて必要な人に必要な情報が行き届くように情報発信を行っていきます。
----	---

課題⑦ スポーツ環境の整備が必要

方針	大田総合体育館については耐震化を終え、2030年に島根県で開催する国民スポーツ大会において競技会場として活用予定です。 小中学校のプール等施設については老朽化が進んでいることから、誰でも季節や天候に関係なく利用できる室内温水プールの建設に向けて検討します。 地区体育館等の施設については、避難所としての側面もあることから、個別施設の耐用年数や安全性を確認し、公共施設適正化及び防災等の観点から総合的にそのあり方を検討することとします。
----	---

第2期スポーツ推進計画に向け抽出した7つの課題について、現時点での評価を踏まえ、それらの解決に向け以下の構成により施策を展開していくこととします。



(注)基本方針の下方に記載している課題は、それぞれの方針がどの課題に対応しているかを示したものです。